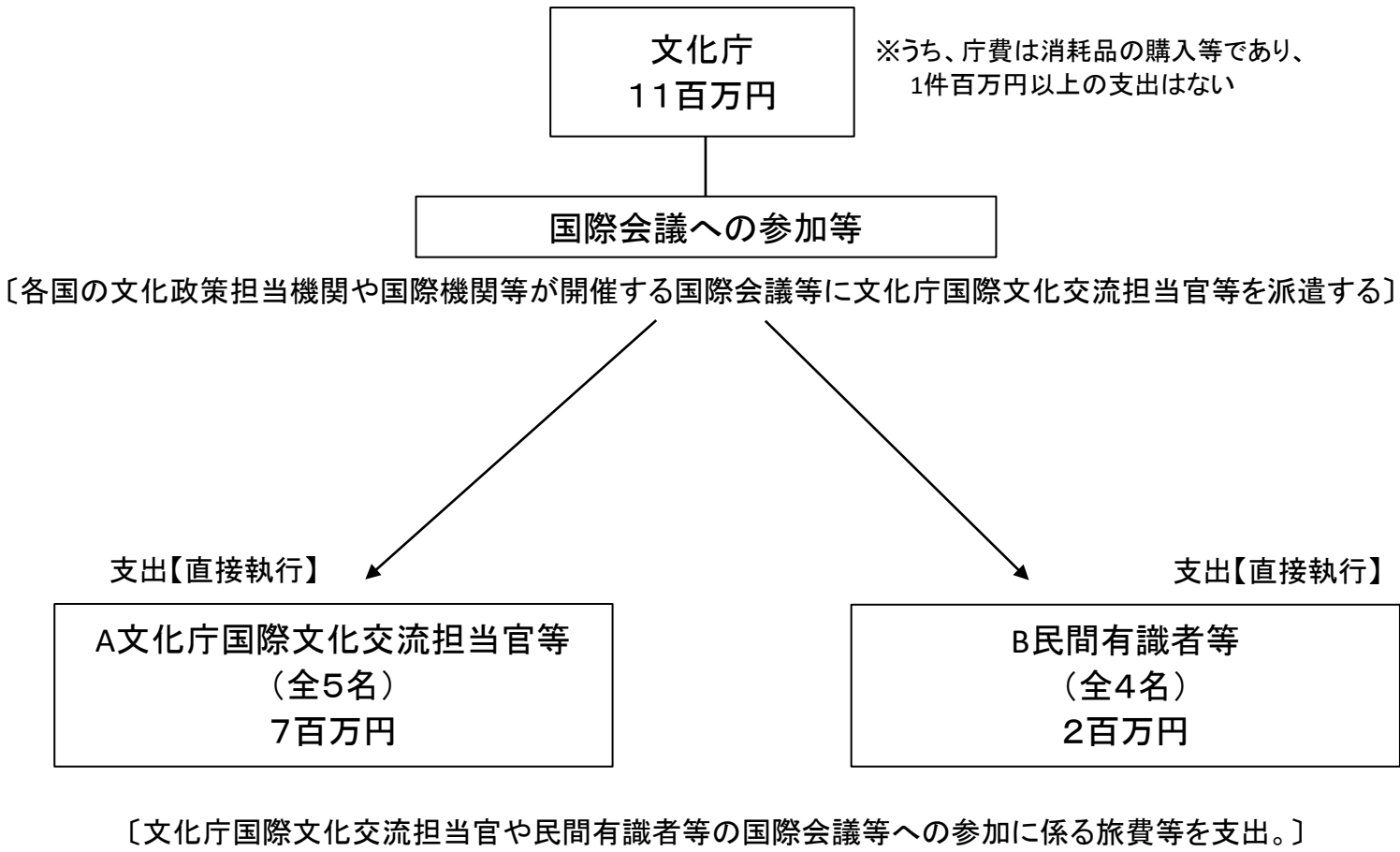


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国際文化ネットワークの構築及び文化多様性の保護・促進への対応			担当部局庁	文化庁		作成責任者
事業開始年度	平成12年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化経済・国際課		文化経済・国際課長 板倉寛
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法第15条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進計画(第2期)(令和5年3月24日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の文化政策上、意義の深い国際会議等に参画し、関係者間の国際的なネットワークを構築することによって、我が国の文化振興と国際文化交流の推進を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	文化政策行政官、芸術家、文化人等の国際的なネットワークを構築することにより、国際文化交流の推進に資する。具体的には、各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際交流担当官等を派遣する。 さらに、豊かな文化多様性の保護、促進を保障することを任務の一つとしているユネスコでは、平成17年秋のユネスコ総会において、文化多様性条約の草案が採択され、平成19年3月に異例の早さで発効したが、日本は未だ批准できていない。我が国としても文化多様性の保護・促進に積極的に貢献するため、ユネスコをはじめとした文化多様性促進に関する国際会議に積極的に参加し、情報収集や関係国との意見交換等を行い、今後、締約国として求められる文化多様性の保護・促進に係る戦略的文化政策の構築を図る。						
事業概要 (5行程度以内)	○国際会議への参加等 各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際交流担当官等を派遣する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	18.5	18.1	16.6	16.6	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	18.5	18.1	16.6	16.6	-	
	執行額(G)		2	7	11		
	執行率(%) =(G)/(F)		11%	39%	66%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		11%	39%	66%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		文化振興費		-		
		(目)	職員旅費	9			
		(目)	文化人等派遣旅費	5			
		(目)	庁費	2			
			その他	-			
	計(A)		16.6	-			

活動内容① (アクティビティ)		各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際交流担当官等を派遣する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		我が国の文化政策上、意義の深い国際会議等に参画し、関係者間の国際的なネットワークを構築する。	参加する国際会議等の回数	活動実績	回	11	11	14	-	-	
				当初見込み	回	7	8	9	7	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	政策的意義・波及効果の高い国際会議等へ参画し、当該国際会議等に出席している各国・国際機関等の文化政策担当官と意見交換を行うことにより、関係者間の国際的なネットワーク構築に資するため。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		政策的意義・波及効果の高い国際会議等へ参加する。	東アジア・ASEANにおいて意見交換を行った国数	成果実績	国	12	12	12	-		
				目標値	国	12	12	12	12		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		当該年度における国際会議等(日中韓文化大臣会合、ASEAN+3文化大臣会合等)への参加実績									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際会議等の参画及びその会議の場における関係者間の意見交換による国際的なネットワークの構築は、諸外国と国際文化交流を推進していく上での基盤となるものである。一方で、国際的なネットワークの構築及びそれによる国際場裏での日本のプレゼンス向上については、目に見える形でアウトカムを設定することが困難であるため。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	職員旅費	交通費・滞在費	2	文化人等派遣旅費	交通費・滞在費	0.8
	計		2	計		0.8
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

